



# NTT東日本東北病院

# 連携だより



## 新年度挨拶「医の原点に帰って頑張ろう」

NTT 東日本東北病院 院長 佐藤 譲

東北は長い冬から急に桜の季節に変わり、NTT 東北病院の窓から見える楽天コボスタジアムにもナイターの明かりが灯るようになりました。

春は人事異動の季節ですが、3月末に17名が退職され、4月から医師4名（1名は初期研修医）、看護師15名、看護助手1名、薬剤師1名、技師1名、療法士3名と、25名の新規入職者をお迎えすることができました。腎臓、呼吸器、整形外科の専門医も加わり、診療内容のさらなる充実が期待されます。

NTT 東北病院は「心のこもった温かく良質な医療の提供」のために職員一同頑張っております。昨年度1年間の病床稼働率は80.2%でしたが、冬季の頑張りが大きく、1月は86.7%、2月は90.2%と仙台市内の病院でトップクラスでした。

職員の意気込みを感じさせるエピソードがありました。当院は仙台医療圏病院群輪番制に参加し、第二次救急医療施設として週一回二次救急を担当しています。先日は若手の先生とベテラン看護師が担当でしたが、夜中から朝まで救急車が途切れず、5人の緊急入院がありました。朝には先生も看護師も疲労困憊だったはずですが、救急隊の要請に応え患者さんを診ることができて嬉しかったと、充実感に満ち溢れ、はつらつとした表情で述べておりました。医療人の鑑のような、医の原点を垣間みたようで感動しました。肉体的にはつらいこともありますが、病める人からの感謝の気持ちが医療人としての仕事の支えです。新人職員の皆様もこの精神に学び、医療に貢献していただきたいと思ひます。

4月から診療報酬が改定になりましたが、国の医療費抑制策を反映して病院にとっては厳しい内容です。一年前の4月には東日本大震災被災者の医療費無料化終了に伴い、外来患者が減少しました。今年の4月も70歳以上の高齢者医療費自己負担率や消費税アップの影響もあってか、外来受診が抑制されている印象です。

患者さんにとっても大変な時代ですが、職員一同、医の原点に帰って地域医療に貢献したいと思ひます。

今年度も宜しくお願い申し上げます。



病院裏に咲いた桜です。

### 病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

### ～目次～

- 新年度院長あいさつ……………P.1
- 市民公開講座……………P.2
- 新任医師、認定看護師紹介……………P.3
- 近所会記事、TOPICS ……………P.4

## 第37回『ロコモティブシンドローム』

佐々木整形外科麻酔科院長 佐々木 信之 先生  
平成26年1月22日 (水)



骨への加齢による影響（骨粗鬆症など）で骨折してしまう、加齢による影響で筋肉量が減少する、関節や靭帯が加齢によって硬くなったりもろくなったりする。年齢と共に身体が衰えるのは仕方のないことですが、年のせいにして放置しておくと、あつという間に寝たきりや要介護になってしまう、それをロコモティブシンドローム（運動器症候群）といいます。

日本人の延びた寿命に運動器（骨、筋肉、関節）の寿命が追いついていない、いつまでも元気で長生きをするためには、運動習慣を身につけて運動

器の寿命を延ばすことが大切であることをお話しされ、その後、ロコモティブシンドロームを予防するために佐々木先生が制作された「ロコモ予防 song」による「ロコモ体操」に講座の参加者全員で挑戦しました。



## 第38回

### 『脱腸（そけいヘルニア）のお話 ～きちんとおせばこわくない～』

外科部長 寺澤 孝幸 医師

ふと気がいたらももの付け根にふくらみが、そんな症状が思い当たる方はいらっしゃいませんか？男性にみられる場合が多いそうです。

それは『そけいヘルニア』という病気かもしれません。あわてて治療しなければいけないことはありませんが、自然に治ることはなく、手術が必要です。

最近の手術はポリソフトという素材を使った手術で突っ張り感もなくスッキリ、再発もなく、入院期間も患者さんのご事情に合わせて短くすることも可能です（場合によっては日帰りも可能）、と寺澤先生。

(平成26年3月19日)



## 新任医師紹介

### 内科

あんどう しげき

安藤 重輝 医師



4月より赴任しました。専門は腎臓内科です。まずは体制作りからですが、ゆくゆくは当院に腎臓内科を標榜できるように頑張っていきたいと思えます。一人での赴任であり、マンパワーの問題もありますので重症等お急ぎのご紹介は直接、ご連絡いただければ幸いです。

### 内科

たなか あきこ

田中 章子 医師



4月から再度内科に着任しました。呼吸サポートチーム（RST）を中心に診療に携わっております。RSTの活動を通して、少しでも地域連携に貢献できればと考えております。よろしくお願ひいたします。

### 整形外科

にのみや ただあき

二宮 忠明 医師



4月1日より赴任致しました。患者さんを自分の家族と思って、生活の質を少しでも良い方向に導ける様に、この病院に来て良かったと思って頂ける診療を心がけ一生懸命努力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

### 内科（初期研修医）

むりょうい あきら

無量井 章 医師



4月から初期研修医として内科に所属させていただいております。まだまだ未熟者の私ですが毎日学びながら地域医療に貢献できるよう努力していきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

## 認定看護師紹介



### 感染管理認定看護師

神田 雅子 5F 病棟看護長

H26年3月まで専従の感染管理認定看護師として、実践できる感染対策を構築するため現場に即した感染対策を心がけ、院内の様々な部門と連携しながら組織横断的に活動しておりました。具体的な活動内容は、院内感染サーベイランス（院内感染の監視や調査）や院内ラウンド、院内感染防止のためのマニュアル作成、情報提供、相談や病院に関わる様々な職員への教育・指導等です。

H25年度から地域全体で感染対策を取り組んでいかなければいけないと考え、感染管理認定看護師や感染症看護専門看護師が勤務している5施設と連携し、仙台東部地区感染対策チーム（SEICT）を結成いたしました。

SEICTの活動として、地域全体で協力しながら感染対策の質を向上できるように、地域での感染対策のニーズを取り入れたセミナーなどを開催させていただいております。

今後とも、地域活動に対して、ご理解・ご協力をいただければ幸いです。

写真（右）は2月に開催された“疥癬”感染対策セミナーの様子（SEICT）  
\*今年度は7～9月いずれかに感染性胃腸炎のセミナーを開催予定です。



# NTT 東日本東北病院 近所会開催

平成 26 年 2 月 4 日 (火) ホテルメトロポリタン仙台

平成 25 年度、当院の近所会(連携会)が開催され、厳しい寒さの中、たくさんの先生方にお集まりいただきました。

今回の講演は、最初に佐藤院長より「当院の専門医をご利用ください」と題して全診療科についてのご紹介をさせていただき、続いて寺澤外科部長から「そけい部ヘルニアの診療」について、高橋呼吸器内科部長(現:内科部長)から「呼吸リハビリテーションと地域連携」について、山崎放射線科医長からは新たに導入する「SPECT/CT」について、それぞれの科の特色や力を入れている診療について、より専門的に発表をさせていただきました。



佐藤院長



関口副院長

引き続き行われた懇親会では院外から参加の先生方お一人お一人にご挨拶を頂き、大変盛り上がった近所会となりました。

今後、顔の見える医療連携に向け、活かしていければと思います。



山崎放射線科医長



高橋内科部長



寺澤外科部長



2月14日のロビーコンサートはハーモニカ奏者の山下侖さんをお招きして、仮設住宅の方や入院患者さんを前に、復興支援コンサートを開催しました。



※今年度の近所会ゴルフコンペは、平成26年9月28日(日)予定しております。



患者さんとお花見

## Topics



新入職者への院長講話



新入職者の歓迎会開催。自己紹介の余興では、すずめ踊りのパフォーマーも登場!

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
NTT東日本東北病院

地域医療連携室

TEL 022-236-5899  
FAX 022-236-5920